

おたるしりべし Link（小樽後志地域医療連携システム）について

小樽市立病院は、複数の医療機関をセキュアなインターネット回線を通じて接続し、診療情報を共有する「おたるしりべし Link（小樽後志地域医療連携システム）」を運営しています。

1. システムの目的

おたるしりべし Link は、地域の医療機関が専用のインターネット回線を通じて、小樽市立病院の診療情報を共有するためのシステムです。患者さんの同意のもと、医療機関が連携し、診療情報を安全に確認できるようにすることで、より適切で効率的な医療の提供を目指しています。

2. システムに参加することのメリット

おたるしりべし Link に参加すると、受診歴や治療・検査の情報が共有でき、検査や薬の重複を防ぐことができます。また、紹介先の医療機関で、あらかじめ患者さんの情報を確認できるため、診療がスムーズになります。緊急時や入院時にも、必要な情報にすぐにアクセスができ、より適切な対応が可能となります。

3. 個人情報の保護

おたるしりべし Link では、厚生労働省が定めたガイドラインに従って、患者さんの個人情報を守ります。患者さんの個人情報は誰でも見られるわけではなく、許可を受けた職員が専用のパソコンを使用して閲覧しますので、第三者が無断で情報を見ることはできません。

4. 患者さんの同意

おたるしりべし Link で診療情報を共有するには、患者さん（又は家族）の同意が必要です。対象患者（又は家族）から口頭同意をいただき、その旨をカルテに記載するとともに、「同意取得連絡票」を作成し、小樽市立病院（0134-25-1600）に FAX 送信してください。なお、同意をいただいた場合でも、情報を閲覧できるのは許可された医療機関に限られます。

5. 患者さんの同意の撤回

患者さんがこのシステムへの参加をやめたいと思われた場合は、「参加同意撤回届」を提出いただくことでいつでも情報共有を中止することができます。「参加同意撤回届」を受理した医療機関は、小樽市立病院（0134-25-1600）に FAX 送信してください。

6. 最後に

小樽市立病院では、おたるしりべし Link を活用し、地域の医療機関と連携して、医療を提供してまいりたいと考えております。医療機関の皆様におかれましては、ぜひ「おたるしりべし Link（小樽後志地域医療連携システム）」にご参加いただきますようお願いいたします。